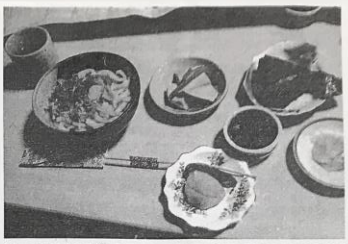
フードバンク

広島・あいあいねっと

〝食べものの命大切に〟が合い言葉



㊨届いた食品を前に「あいあいねっと」のメンバー
㊤うどんや煮物、おにぎりも提供された食材で
㊥火、金曜には食堂も開きます
㊦ゆったりくつろげる食堂のスペース

賞味期限が近い、包装の印刷ミス…。そんな理由で、まだ食べられる食品が大量に捨てられています。そんな食品を役立てるフードバンクという活動があります。広島市で活動するNPO法人あいあいねっと」を訪ねました。君塚碧子記者

築80年以上の古民家を拠点に活動する「あいあいねっと」（賛助会員58人）は07年に設立、昨年5月から本格的に活動を始めました。

事務所には、海苔（のり）がぎっしり入った段ボール箱、菓子やジュース、型抜きした野菜の残りなど、捨てられる予定だった食品があふれていました。

「集まる量の多さに改めてびっくりしました」というのは理事長の原田佳子さん（57）です。

フードバンクのおおまかな仕組みはこうです。（図）

製造・卸売・小売業者から提供された、品質には問題ないのに廃棄予定の食品（余剰食品）を「あいあいねっと」が点検・整理し、福祉関係などのNPOや団体に無償で渡します。「あいあいねっと」は双方の団体と、食品の取り扱いに関する確認書を交わしています。

提供する食品関連業者は7社、食品を渡すNPOなどは16になりました。「単に受け取る、渡すだけの関係ではなく〝食べ物の命を大切にする〟という活動の趣旨を理解して参加してもらいたい」（原田さん）と、業者もNPOなども会員になるのが条件です。

「生協ひろしま」は、ラーメンや菓子など「独自の商品管理基準を超えた賞味期限内の商品」（担当の出元敬也さん）を2月から出しています。捨てずに利用された食品は10カ月で1・3トンになりました。

市内の海苔会社は、販売期間の短くなった在庫品などを提供。「食べられるのに市場に出せないため、これまでは廃棄していました。利用者に直接商品が渡る最善の方法です」と歓迎します。

こうして現在までに扱った食品は10トン余に。

食品の提供を受けるNPOオレンジハウス（心を病む人の作業所）の理事長、飯田勉さんは、「市の補助金で運営していて余裕がないので助かります。今日はニンジンやサツマイモが来たのでサラダや豚汁をつくりました。調理実習をみんな楽しみにしています」と言います。

ホームレス支援団体はホームレスの人が急増し、食事提供を毎日に増やしました。「野菜やパックごはん、調味料…、本当にありがたい」

障害者の作業所の人に野菜を渡す理事長の原田さん（右）＝「あいあいねっと」提供

地域づくりにも

「あいあいねっと」の理事長、原田さんは、地元の病院で働く管理栄養士です。フードバンクを始めたきっかけは、高齢者の貧困と言います。

「慢性腎不全になった高齢の患者さんに『食べることは薬だから』と配食サービスを勧めても、1食の値段を聞いただけで断ります。別の糖尿病の男性は、交通不便な地で車の維持にお金がかかるため、スーパーで半額の食品しか買いません。栄養より安さを優先せざるを得ない実態。何とかしたいと思ったのです」

そんなとき、知り合いに誘われ、フードバンク発祥の地、アメリカのフードビジネスツアーに参加。フードバンク活動を知りました。

「広島でやるとしたら、高齢者を視野に入れた地域づくりにも力を入れなければと思った」と原田さん。

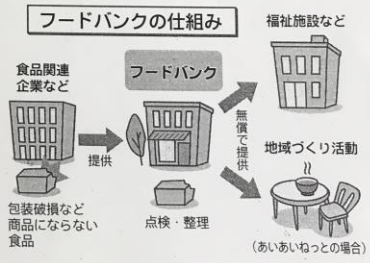
「あいあいねっと」は地域の祭りに参加したり、事務所を開放して健康教室を開いたりと多彩な活動です。

10月からは食堂も開きました（火・金曜のみ）。訪ねた日のメニューは「特製あんかけうどん280円」「使むすび（2個）70円」…。提供された食材を使い、調理・接客をボランティアが支えます。「お年寄りの話をゆっくり聞いてあげたい。地域のサロンのようになれば」と〝料理長〟の難波澪子さん（68）。8月から参加している中村道代さん（60）は「わいわい楽しい。捨てられていた食べものを生かす―、今の時代に必要な活動ですよね」。

各地のフードバンクに共通する悩みは、運営資金のねん出です。「あいあいねっと」も例外ではありません。原田さんは、「障害者の就労の場にもしたい、高齢者向けの配食サービスもやってみたい。知恵を絞って活動を発展させたい」と話していました。

食品廃棄＝米収穫量

製造・販売段階で出る食品廃棄物は全国で年間約831万トン（農水省調べ）。年間の米収穫量とほぼ同じです。このうち、まだ食べられる食品は300万～500万トンと推計されています。原田さんは「廃棄されたものは焼却され、二酸化炭素を出します。地球温暖化防止からもフードバンクは大事」と強調します。

各地のフードバンク

日本では在日アメリカ人のチャールズ・マクジルトンさんが99年から東京で活動を始めました（セカンドハーベスト・ジャパン）。広島以外に山梨、名古屋、関西、大分県日田市、沖縄などで主婦や青年などが活動しています。